

平成31年 第1回伊那地域協議会会議録

開催日	平成31年4月18日(木)											
開催時間	開 会	午後6時30分			閉 会	午後7時55分						
開催場所	伊那市役所 1階 多目的ホール											
委員の出欠 出席28名 欠席11名		委員氏名				委員氏名				委員氏名		
	1	御子柴 春樹	欠	16	八幡 孫之	出	31	久保田 直樹	欠			
	2	原 猛文	出	17	飯沼 厚史	欠	32	櫻井 智	出			
	3	竹前 進	出	18	平嶋 真	出	33	ワズナ 奈那	欠			
	4	中山 昭	出	19	大沼 明夫	出	34	平澤 彩	出			
	5	原 壯内	出	20	伊藤 哲寛	出	35	河上 由香	欠			
	6	福沢 雄司	出	21	網野 隆志	欠	36	小林 建正	出			
	7	武田 修平	出	22	板倉 倫顯	出	37	平賀 裕子	出			
	8	船阪 政義	出	23	佐々木 知恵子	欠	38	小林 正	出			
	9	池上 喜恵	出	24	田畑 恵子	欠	39	井口 清吾	欠			
	10	中村 永夫	出	25	中山 彩香	欠						
	11	北澤 健	出	26	宮原 勝	出						
	12	坪木 澄人	出	27	山岸 和豊	出						
	13	林 典男	出	28	中村 一重	出						
	14	小澤 辰夫	出	29	平澤 大典	出						
15	三澤 惇夫	出	30	清水 功	欠							
署名委員	八幡 孫之			平嶋 真								
条例第10条の規定により出席した者	なし											
市側の出席者												
出席した事務局職員	地域創造課 課長 唐澤 直樹 地域創造課 地域振興係長 飯島 勝											
議 事	(1) 平成31年度のスケジュールについて (2) 小グループによる検討について (3) その他											
配布資料	資料 No.1 平成31年度伊那市協働のまちづくり交付金事業一覧 資料 No.1-1~4 伊那市協働のまちづくり交付金事業選考結果シート											

	資料 No. 2 平成 3 1 年度伊那地域協議会年間計画 資料 No. 3 平成 3 0 年度のまとめ
--	---

1 開会

(副会長)

ただいまより、第 1 回の伊那地域協議会を開会します。

(交代委員及び欠席委員の報告)

2 あいさつ (会長より)

平成最後の協議会となる。昨年に引き続き、小グループごと課題はあると思うが、しっかり協議していただき、地域協議会として提言ができるようお願いしたい。

3 会議録署名人の指定について

(会長)

会議録署名人に 1 6 番 八幡 孫之 委員、1 8 番 平嶋 真 委員を指名する。

4 報告事項

(1) 平成 3 1 年度協働のまちづくり交付金事業の選考結果について

(事務局)

平成 3 1 年度協働のまちづくり交付金事業の選考結果について、資料 No. 1. 1-1~1-4 により説明。条件付きの事業もあるが、応募のあった 4 事業すべて採択となった。交付金に 2, 124, 000 円の残額があるので 2 次募集を行いたい。

< 質疑・応答 >

(委員) 採択された事業について、3 年目以降は独自で頑張れということだと思う。採択された団体については、3 年目以降は自力でできる可能性があるのか。困難なことは、たぶんあると思う。かなりお金がかかる事業であるし、お金が入ってくるという事業ではない。そこを主催団体が選考の過程でどのように言っていたか教えてほしい。

(事務局) 例えば、「花の郷づくり」事業だが、苗代等がかなり費用のウエイトを占めているので、苗を種からおこすなどして事業の継続ができるようにしていきたい。なるべく経費がかからない方法で同じような事業ができることを考えていきたいとのことで、この団体については事業の継続が見込めると思う。

「横山地区魅力創造創出」事業は仮設トイレ等費用のかかるところはあるが、地元の区や周辺の影響があるような区と相談しながら、最低限の経費は検討してもらい、労働の対価はボランティアで続けていくような検討をしていってもらおうよう考えている。

5 会議事項

(1) 平成31年度のスケジュールについて (事務局)

平成31年度のスケジュールについて、資料No.2により説明。6回の会議を予定。都合の悪い日が出た場合は、随時ずらしていく。

この間のグループ討議は、本日を含め11月26日の5回目までで本年度のグループ討議をまとめていただき、今年は2年目最終年になるので、2月7日の第6回で提言に対する回答ができるよう予定している。それで本年度の締めとする。

交付金事業だが、1次分は4月上旬に交付決定しているので、2次募集分については、6月下旬か7月初旬には交付決定ができればと考えている。

令和2年2月1日から3月中旬まで来年度の事業の募集を考えている。3月には今年度の事業報告会を予定している。

<質問なし>

(2) 小グループによる検討について (事務局)

まず、資料No.3の「平成30年度のまとめ」について、それぞれのグループ協議結果の内容について確認をお願いしたい。この内容について行政から回答する部分があるので、まとめがこの内容で良いようであれば次回回答ができるようにしたい。

また、委員の交代が2名あったが、前任者と同じグループに所属していただくこととする。

<グループによる検討>

<グループによる検討結果発表>

(グループ1) 「中心市街地の活性化について」

大きな問題だが、街で行っているいろいろなイベント情報の発信方法がへたで、何が起こったかは事後報告で新聞等に掲載されるが、事前に伊那ケーブルテレビ等周知の方法を検討したほうが良いという話があった。それについては、市の商工振興課や地域創造課の協力が必要である。

次回5月から6月にかけて、伊那市の商工業振興ビジョンを発信している商工振興課を交えて、ビジョンについての情報の共有化を図ることと、成功事例などを教えてもらい、こういうところがあるなどの協議をしたり、イベント情報の発信も良い方法がないかということグループミーティングしようと考えた。それに基づいてまた、6月のこの会議で報告をしたい。

(グループ2) 「地域の安心・安全について」

グループ2は地域の安心・安全ということで、本質的な問題は、市民が持つ不安が一番の課題であり問題である。テーマについて一度中間で締めてあるので、行政や連合会でできるという回答があれば、早く出してほしい。

今年度のテーマは、同じテーマを深掘りすることと、テーマを少し広げることでやっていこうと思っている。そのためにも中間で締めた形になっているものに対して、行政、連合会がやっていけることがあれば、また、提言が具体的でなくてわからないことなどあれば、説明して前へ進めていきたいと考えている。

(グループ3) 「公共施設の在り方について」

平成29年度には、153バイパスに道の駅を建設し、そこに防災施設を付設したらどうかという提案であったが、なかなか前向きな回答がなかった。平成30年度は逆に防災施設を主にして、そこに多機能な道の駅を付設したらどうかという提案に切り替えてまとめたところである。

たまたま、先般の伊那市議会一般質問の中で「国道153バイパスに道の駅を建設したらどうか」という提案で、市長の回答が「2候補地で検討を進めている。一つは伊那手良美篤地区か富県東春近地域で進めている。道の駅とそれに合わせて防災拠点の機能も踏まえた」ということで非常に前向きな検討事項ということで提案をされた。3班で求めていたことが前向きに検討なされていると判断する。

については、31年度についてもこのことを一つの検討課題として進めることで決まっているので、これをより具体的にどのような施設をどのような形で設置したら良いかということ次回の会議の中で検討したい。もう一つ、どこかに多機能を備えたような施設があるなら、委員会としても視察してみたいという提案があったので、委員の皆さんや事務局で良い所を知っていれば紹介してほしい。

(グループ4) 「地域のつながりについて」

「地域のつながりについて」テーマを個別に絞っていくと、非常に広がってしまって何をしたら良いかわからなくなってしまう。つながりというのは、それぞれの地域の中での世代間のつながり又は住民の要望事項というものを、一つずつの地域の常会とか隣組などの中でまとめていったらどうなるのだろうかというような話になりつつある。

前年度は具体的なことが出てこなかったのだが、本日一つずつ皆から話をしてもらい、次回には絞り込んだ形で提案がまとめられればいいと考えている。

6 その他

(事務局)

次回の会議予定について連絡。6月13日(木)に開催。会議通知は改めて送付する。

7 閉会

(副会長)

以上を持ちまして、第1回の伊那地域協議会を閉会とする。

本会議に会議録を作成し、会長及び会議録署名人において下記のとおり署名する。

平成31年4月18日

平成31年度 第1回伊那地域協議会 会議録

会 長

会議録署名人

会議録署名人